

マルチタスク車両を活用したオンデマンド医療MaaS実証実験

実施主体: 三重広域連携スーパーシティ推進協議会

◆解決したい地域課題

人口減少、高齢化により、地域の公共交通は自治体の負担により運行され、公共交通の利便性が良いとは言い難い。移動手段も自家用車への依存が大きく、高齢者の免許返納も困難な地域である。また、高齢化により保険や医療にかかる自治体負担費用も大きく、財政を圧迫している。
【解決したい課題】・公共交通の利便性向上(公共交通維持にかかる自治体負担費用軽減)
 ・地域の健康増進(保健や医療などの自治体負担費用軽減)

◆協議会の構成員

9自治体、2大学、26企業
 多気町、大台町、明和町、度会町、大紀町、紀北町、尾鷲市、紀宝町、常滑市、三重大学
 MRT株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、Monet Technologies株式会社 等

◆実験内容

マルチタスク車両を活用し、オンライン診療、受診勧奨、保健指導等の社会福祉、社会保険、保健衛生のあらゆる分野での活用可能性を検討し、6町連携を含めた事業性を検証する。

◆実験対象地域(6町)

